

新型コロナウイルス感染症に関する 弊会における見解と基本方針

以下に示す理由により、弊会こと個別指導専門講師会では、ご指導受講時における受講者様の「新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした」マスク着用を義務付けておりません。
むしろ(5)の観点から、息苦しさや心理的苦痛に耐えてまで着用することは推奨いたしません。
(症状がない限り) **ご指導受講の際は、マスクを着用せずにご受講いただくことを推奨いたします。**

マスクを着用したり、アルコール系消毒液で手指を消毒したりすることよりも、**身体の根本的な健康がはるかに重要である旨を、良識ある複数の医師も提唱しております。**（後述）

2020年2月より続いている「新型コロナウイルス感染症」にまつわる騒動は、一種の「情報災害」です。感染症の実態と大きく相違した報道が連日メディアで流され、それを視聴した人々が過剰に危険視したり、不確かな方法（PCR検査）を検査方法に採り入れたりした結果、更に混乱が助長される悪循環が長期化し、実際に新型コロナウイルスに感染したことに因る生命的・身体的なダメージよりも、有害・過剰・非科学的な感染症対策による健康面・心理面・経済面の被害の方が深刻化したことは明確です。

-
- (1) 個別指導受講中における講師と受講者の接触による感染事例が皆無に等しいこと
(大半が「同居家族間の接触」もしくは「福祉施設内での接触」による感染です)

脚注：<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kansen/monitoring.html>

- (2) 30代以下で新型コロナウイルス感染者と見なされた（PCR検査で陽性となった）人に、重症化・死亡事例は皆無に等しく、**98%が無症状もしくは軽微な風邪症状で済んでいること**
(国内死亡者の平均年齢79歳・大半が既往歴もしくは基礎疾患を有していた方です)
(報道上の死亡者は、約90%がPCR検査陽性の状態で新型コロナウイルス以外の死因で亡くなったと見られます)

脚注：<https://toyokeizai.net/sp/visual/tko/covid19/> ・ <https://toyokeizai.net/articles/-/386189>

- (3) 新型コロナウイルスが無症状者との接触により感染し得ることを証明する論文は2021年5月現在も存在しない一方、米国学術誌 Natures Communications に2020年11月20日付で掲載された論文によると、**「PCR検査で陽性となった無症状者」と接触した人が感染・発症した事例は約1000万人を追跡調査しても確認されなかった旨が記述されていること**

脚注：<https://www.nature.com/articles/s41467-020-19802-w> ・ https://www.lifesitenews.com/mobile/news/http://senmon-koushikai.com/wp/wp-content/uploads/2021/04/ronbun_wayaku.pdf（和訳）

- (4) 文部科学省が2021年2月19日付で学校運営のガイドラインを改定し、「マスク常時着用」「ソーシャルディスタンス」「新しい生活様式」に関する記述を削除の上、通知したこと

脚注：https://www.mext.go.jp/content/20210219-mxt_kouhou01-000004520-03.pdf（39ページ）

- (5) マスクが感染症の予防に効果的とする科学的根拠が2021年5月現在も確認されていない一方、健常者（特に未成年者）のマスク長時間着用による健康への悪影響の事例が多数確認され、複数の医師も**マスクの常用・長時間着用は感染症の予防になり得ないだけでなく、身体に有害（免疫力低下により、却って感染症にかかりやすくなる）**である旨の声明を出している。

脚注：https://facebook.com/story.php?story_fbid=2909759639349036&id=100009450862891

<https://blog.goo.ne.jp/beingt/e/afa5c793b8c553718ad5ca15bda5ca15bda5127c>

<https://note.com/nakamuraclinic/n/n5a9bd81613db>（中村 篤史医師）

<https://facebook.com/kaneshiro.honest.clinic/posts/3528125983900580>（金城 信雄医師）

<https://facebook.com/naoki.takebayashi.94/posts/3366666820078092> (竹林 直紀医師)

<https://dot.asahi.com/wa/2020120400016.html> (帯津 良一医師)

<https://facebook.com/yuki.kobayashi.12979/posts/4844376135634000> (小林 有希医師)

尚、弊会では、良識ある医師・大学教授・有識者等からのご指導・ご助言・ご提案を受け、新型コロナウイルスのみならず、ありとあらゆるウイルス性感染症の予防に励むべく、以下5点の「感染症学の科学的根拠に基づいた」取り組みを励行しております。

-
- (1) 感染症特有の症状（発熱・咳・咽喉痛・倦怠感等）が確認された場合は、療養・経過観察を優先すべく出講を見合わせ、後日振替等の対処をいたします。
 - (2) 以下のいずれかに該当する場合、担当講師が飛沫防止装具（マスク・フェイスシールド等）を着用した上でご指導を実施させていただきます。
 - (i) 担当講師に感染症特有の症状（咳・発熱など）が伺える状態で、止むを得ずご指導を実施する
 - (ii) 受講場所が換気が充分に行えない・人の出入りが著しいなど、環境的にハイリスクと判断される
 - (iii) 受講者様（もしくは受講場所に同席される方）に循環器系の疾患・既往症がある
 - (iv) 受講者様・申込者様から「科学的に正当な根拠に基づく飛沫防止装具着用の要請」がなされた
 - (3) ご指導実施中に限らず日常的に、目・鼻・口の粘膜に掌で触れることを控え、止むを得ず触れる際は、その直前に石鹸等で掌を十分に洗浄いたします。
 - (4) 担当講師は受講者様に「感染症予防に励むべきこと」を箇条書きした書面を配布した上で、担当講師の退室後には、流水もしくは石鹸で掌を洗浄するようにお声掛けいたしております。
 - (5) 担当講師は、新型コロナウイルス等の感染症を過剰に忌避・危険視することなく、免疫力を向上させる重要性を熟知し、その方法を日々調査し、日常において実行しております。

弊会は、受講者様に安全かつ快適にご指導を受講していただくため、各種感染症に関する情報を多方面から採り入れ、ウイルス性感染症の予防法を正しく熟知・実行している自負がございます。

（弊会主宰経営者の長通は、過去10年間で発熱等を発症したことは1回しかございません。）

安心してご指導をご受講いただければ幸甚に存じます。

個別指導専門講師会

主宰経営者 長通 幸大 (Ko-dai Nagatoshi)

【つくば本部】 〒305-0045 茨城県つくば市梅園2丁目24-21

【東京麻布十番支部】 〒106-0045 東京都港区麻布十番1丁目2-7

ラフィネ麻布十番 701

TEL : 029-851-7873 / 0120-517-873

E-mail : k_nagatoshi@senmon-koushikai.com

Homepage : <http://senmon-koushikai.com/>
